

# 千葉中央

千葉発  
ロータス  
正規ディーラー

千葉県総販売元

TOY BOX  
48.com  
GARAGE  
SHIMAYA

Phone  
043-286-2444

F263-0005  
千葉市稲毛区長沼町209

## 県内の天気

	きょう	あす
千葉	☔	☔
銚子	☔	☔
木更津	☔	☔

きょうの予想 (千葉)

降水確率  
朝80% 昼90% 晩80%  
気温  
最高9度 最低3度

北の風後南東の風

千葉支局  
〒260-0013  
千葉市中央区  
中央3-4-8  
コーンスピル4F  
電話 043-224-8155  
FAX 043-225-2271  
mail:chiba@  
tokyo-np.co.jp  
船橋047-424-6381  
市川047-334-4151  
松戸047-344-0117  
柏04-7164-0057  
成田0476-23-0866  
銚子043-224-8155  
木更津0438-25-6501



畑での空間線量(地表から1m)の計測作業を不安そうに見守る羽田さん(中)。後ろには除染作業で出た汚染土を詰めたフレコンバッグが置かれていた。いずれも福島市内で。

## ホットスポット 今も

市中部にある羽田さんの自宅でも雨どい周辺を調べると、地表から四十センチで、毎時四・六八μSvを計測した。羽田さんによると、業者の都合で、雨どいにつながる屋根は、除染されなかったという。「自宅に戻るたびに体調を崩す理由が分かった。これからどうしていいかますます分からなくなった」

原告の菅野貴浩さん(五七)の自宅は、市中部から南東約二キロの渡利地区にある。震災直後から線量が高いと噂されてきた。自宅から程近い国道一四号沿いの斜面も調査。この日は高さ一センチで毎時五・四一μSvを計測した。同プロジェクトの中村順さん(六八)は「放射線は消え

## 線量計「まだ上がるよ…」



渡利地区の国道一四号沿いで、地表面です時5・41μSvを計測し、驚きの声を上げるモニタリングプロジェクトチームのメンバーら



から驚きの声が上がった。

その場所は、原告の一人で、福島市から千葉市に避難している羽田典子さん(六三)の亡父が作物を育てていた阿武隈川沿いの畑。今は知り合いが借り、野菜

## 高い数値、驚く声

ることがない。住宅街でも探せばまだホットスポットはある」と指摘した。

この日の調査には弁護士や原告、支援者、同プロジェクトメンバーの計十四人が参加。三世帯の自宅や周囲など約二十九所で空間線量を計測し、土も十三カ所で採集した。

弁護団の藤岡拓郎事務局長は「原告の自宅や身近な場所、これだけの高い数値が出た。震災後に避難し、それを継続する合理性を確認できた」と述べた。

十三日は、残りの原告の三世帯が暮らしていた南相馬市といわき市で調査する。

## 福島から避難 県内6世帯19人 集団訴訟

東京電力福島第一原発事故から間もなく七年。福島県の避難指示区域外から千葉県内に避難した六世帯十九人が国と東電に約二億七千万円の損害賠償を求めた集団訴訟の弁護団や原告らが七日、福島市内にある原告二世帯の自宅や周辺の畑などで、空間放射線量の測定などの調査を行った。国の空間放射線量の基準値(毎時〇・二三μSv)を超えた場所もあり、弁護団は訴訟の証拠資料として、千葉県地裁に提出する。(美細津仁志)

「おいおい、まだ上がるよ」。地表から一センチの高さにセットした線量計の数値に、計測に協力した東京の有志団体「ふくいち周辺環境放射線モニタリングプロジェクト」のメンバー

## 自宅や周辺 放射線量調査



渡利地区で、自宅周辺の調査を見守る菅野さん(中)

## 読み書き歌い語り継ぐ

東日本大震災の7年を祈念した「読み書き歌い語り継ぐ集い」が、旭市の県立東部図書館3階会議室で、11日午後2時

## 旭市で11日集い

半から開かれる。飯岡土人形保存会の主催、旭いいおか文芸賞実行委員会の共催。「劇団ふく」

による紙芝居「まーくん がんばれ〜語り継ぐいいおか津波」「通運洞ものがたり」の上演、飯岡土人形のひな飾り復活についての報告、旭いいおか文芸賞「海へ」の受賞作品の朗読などがある。

旭市では、津波によって14人(うち震災関連死1人)が犠牲となり、2人が行方不明になっている。入場無料。問い合わせは、事務局のNPO法人「光と風」=電0479(57)5769=へ。

## 県復旧事業 進捗率98%

県は、東日本大震災の復旧復興の取り組み状況(二〇一七年十一月末現在)を発表した。現状を回復する復旧事業は、九十九のうち

99のうち  
97終わる

九十七で完了(進捗率98%)。この一年で、震災時に液化化被害を受けた千葉、習志野両市などの住宅の地盤復旧を支援する事業

## 復興事業は92%

が終わった。同事業では三十七市町の六千五百二十五世帯に計五十億九千万円を支給した。継続するのは被災者への資金貸し付け、住宅再建資金への利子補給の二つ。また、安全な地域づくり

を進める復興事業は、百分の食料や携帯トイレなどのうち百の事業が完了(同92・6%)した。この一年は津波対策事業では九十九の取合同庁舎建設の二つが完了。帰宅困難者対策として県の十六施設(一時滞在施設)に最大八千人・三日

(村上豊)

## 機動隊

容疑者再逮捕

女子高校生に行為をしたとして捕された事件で、高校生と同様のことが分かったことが分かった。一課は七日、疑いの疑いで、県隊の元巡査明智(二八)千葉市稲毛区に逮捕した。同課疑を認めている。立ち県警は同日、者を懲戒免職処分。逮捕容疑では、六月中旬の午後、県内の路上を歩中の女子高校生、体を触った

## 災害時に福祉用具提供

業者の協会 野田市協定

野田市は災害時の要配慮者支

同市役所で先月、締結式が行われ、鈴木有市長と同協会千葉ブロックの畔上加代子ブロック長が協定書を交わした。鈴木市長は「災害時に必要な福祉用具を迅速に提供できるように協定を交わした」と述べた。

成田機能再受け入れを 佐藤・横空港周辺 直し案への判断 成田空港の機能再受け入れをめぐり、成田市長は「直し案は、成田港周辺に空港を再整備する必要がある」と述べた。同市長は七日、連名で受け入れを申し、要望書では、